

Intoroduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町商工会

たかざわ しん 高澤 伸さん

「多くの人と関わり、地域に貢献できるよう頑張ります」と話すのは、今年8月から雄武町商工会に勤務する高澤さん。
出身は滝川市で、幼少の頃から始めたスキーでは、アルペンスキーのプロスキーヤーとしてスイスやドイツなどの海外を中心に活躍されていました。日本国内では、アプリ開発事業者向けのマネジメントを行うなど多岐にわたって活動をされていたそうです。その後、スキーでのケガをきっかけに北海道へ戻り、地元企業に入社しましたが、以前していたマネジメントの経験を活かしたいと考えていたときに、知人から雄武町商工会の事務局員募集の話しを聞き、事業者と密接に関わる商工会なら経験を活かすことができると思い、受験することを決意されたそうです。

現在は、新型コロナウイルス感染症に係る事業者への補助金の申請などの事務補助が主な仕事となっており「覚えることが多く大変ではありますが、地域の事業に積極的に参加して、地域の皆さんに貢献できるよう頑張っていきたいです」とこれからの目標について話してくれました。
趣味について聞いてみると「雄武に来てからは釣りにハマっていて、休日はずっと釣りをしています。また、北海道でもサーフィンができる場所があり、このあたりでもやっている人がいると聞いたので、「コロナが落ち着いたらサーフィンに挑戦したいですね」と話してくれました。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記 Editor's note

▼日の沈みが早く、吹く風も少しずつ冷たくなってきたことに加え、今月号の表紙のとおり秋サケの定置網の水揚げが行われるなど、雄武にも秋の訪れを感じます。季節の変わり目で体調などを崩しやすい時季なので、体をあたためて体調不良に気をつけながら過ごしたいですね。(松井)

▼雄武小学校の運動会に私も久しぶりにカメラを片手に取材にお邪魔させていただきました。天候不順により、2日に分かれて実施されました。子どもたちが、いろいろな競技に一生懸命に挑戦している姿を見て、シャッターを押す指にも自然と力が入ってしまいました。(結城)